

最近の調剤医療費(電算処理分)の動向の概要 ～平成19年度版～

- 1 平成19年度の電算処理割合は、医療費ベース、処方せん枚数ベースともに8割を超えている。処方せん1枚当たり調剤医療費について、調剤レセプト全体と電算処理分を比較すると、その差は0.2%で小さい。平成19年度の処方せん1枚当たり調剤医療費の対前年度比は6.1%であり、電算処理分の処方せん1枚当たり調剤医療費の対前年度比は5.8%となっている。

表1 調剤医療費の全数と電算処理分の比較

		実数			対前年度比(%)	
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成18年度	平成19年度
全数	調剤医療費(億円)	45,927	47,468	51,673	3.4	8.9
	処方せん枚数(万枚)	66,363	68,955	70,739	3.9	2.6
	1枚当たり調剤医療費(円)	6,921	6,884	7,305	▲0.5	6.1
電算処理分	調剤医療費(億円)	25,658	33,305	41,803	29.8	25.5
	電算化率(%)	55.9	70.2	80.9	—	—
	処方せん枚数(万枚)	36,777	48,106	57,089	30.8	18.7
	電算化率(%)	55.4	69.8	80.7	—	—
	1枚当たり調剤医療費(円)	6,977	6,923	7,322	▲0.8	5.8
	電算処理分/全数	1.008	1.006	1.002	—	—

2 処方せん1枚当たり調剤医療費(以下、電算処理分に限る。)の内訳をみると、技術料の割合が26.3%、薬剤料の割合が73.6%となっている。対前年度比は、技術料が1.2%、薬剤料は7.5%となっており、薬剤料の伸び率が高い。薬剤料の約85%を占める内服薬についても、その伸び率は7.7%と高い。

表2 処方せん1枚当たり調剤医療費の内訳

	実数			対前年度比(%)	
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成18年度	平成19年度
調剤医療費(円)	6,977	6,923	7,322	▲0.8	5.8
技術料(円)	1,897	1,901	1,924	0.2	1.2
構成割合(%)	27.2	27.5	26.3	—	—
薬剤料(円)	5,069	5,011	5,387	▲1.2	7.5
構成割合(%)	72.7	72.4	73.6	—	—
内服薬薬剤料(再掲)(円)	4,301	4,245	4,573	▲1.3	7.7
特定保険医療材料料(円)	10	11	12	7.5	8.2
構成割合(%)	0.1	0.2	0.2	—	—

3 処方せん1枚当たり調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、75歳以上では9,220円と、0歳以上5歳未満の2,929円の約3倍となっている。対前年度比については、20歳以上で5%前後の高い伸び率になっている。

表3 年齢階級別処方せん1枚当たり調剤医療費

	実数(円)			対前年度比(%)	
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成18年度	平成19年度
総数	6,977	6,923	7,322	▲ 0.8	5.8
0歳以上5歳未満	2,892	2,865	2,929	▲ 0.9	2.2
5歳以上10歳未満	3,838	3,750	3,875	▲ 2.3	3.3
10歳以上15歳未満	4,556	4,359	4,545	▲ 4.3	4.3
15歳以上20歳未満	4,558	4,492	4,694	▲ 1.5	4.5
20歳以上25歳未満	4,668	4,604	4,828	▲ 1.4	4.9
25歳以上30歳未満	4,892	4,856	5,103	▲ 0.7	5.1
30歳以上35歳未満	5,193	5,167	5,430	▲ 0.5	5.1
35歳以上40歳未満	5,664	5,643	5,957	▲ 0.4	5.6
40歳以上45歳未満	6,230	6,195	6,535	▲ 0.6	5.5
45歳以上50歳未満	6,824	6,767	7,120	▲ 0.8	5.2
50歳以上55歳未満	7,351	7,275	7,635	▲ 1.0	5.0
55歳以上60歳未満	7,828	7,751	8,133	▲ 1.0	4.9
60歳以上65歳未満	8,065	7,998	8,423	▲ 0.8	5.3
65歳以上70歳未満	8,290	8,192	8,600	▲ 1.2	5.0
70歳以上75歳未満	8,552	8,446	8,875	▲ 1.2	5.1
75歳以上	8,817	8,751	9,220	▲ 0.7	5.4

4 内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料4,571円を、処方せん1枚当たり薬剤延種類数、投薬日数、1日当たり薬剤料に分解すると、各々2.83、17.9日、90円となっている。また、内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料の伸び率7.7%を、処方せん1枚当たり薬剤延種類数の伸び率、投薬日数の伸び率、1日当たり薬剤料の伸び率に分解すると、各々1.1%、3.5%、2.9%となっており、投薬日数および1日当たり薬剤料の伸び率の影響が大きい。

表4 内服薬 処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解

	実数			対前年度比(%)	
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成18年度	平成19年度
内服薬 1枚当たり薬剤料(円)	4,296	4,243	4,571	▲1.2	7.7
処方せん1枚当たり薬剤延種類数	2.77	2.80	2.83	1.0	1.1
投薬日数(日)	16.7	17.3	17.9	3.2	3.5
1日当たり薬剤料(円)	93	88	90	▲5.3	2.9

5 内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料を薬効大分類別に見ると、循環器官用薬が1,360円と最も高く、次いで中枢神経系用薬が555円となっている。対前年度比は血液・体液用薬が13.6%で最も高く、呼吸器官用薬が▲4.3%で最も低い。

表5 内服薬 薬効分類別処方せん1枚当たり薬剤料

	実数(円)			対前年度比(%)	
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成18年度	平成19年度
内服薬 総数	4,296	4,243	4,571	▲1.2	7.7
11 中枢神経系用薬	485	500	555	3.2	11.1
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	74	74	78	▲0.5	5.2
114 解熱鎮痛消炎剤	81	76	81	▲5.4	6.5
116 抗パーキンソン剤	61	60	62	▲2.0	2.7
117 精神神経用剤	168	183	209	8.7	14.3
119 その他の中枢神経用剤	71	78	95	10.1	21.6
21 循環器官用薬	1,276	1,260	1,360	▲1.3	7.9
212 不整脈用剤	92	85	87	▲7.0	2.3
214 血圧降下剤	532	546	605	2.6	10.9
217 血管拡張剤	286	275	286	▲3.9	4.0
218 高脂血症用剤	283	272	294	▲4.0	8.2
22 呼吸器官用薬	90	82	78	▲8.7	▲4.3
23 消化器官用薬	470	457	487	▲2.9	6.8
232 消化性潰瘍剤	357	341	364	▲4.5	7.0
239 その他の消化器官用薬	53	54	58	2.7	7.1
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	114	111	125	▲3.0	13.0
31 ビタミン剤	115	108	111	▲6.4	2.5
32 滋養強壯薬	57	58	62	1.0	7.0
325 蛋白アミノ酸製剤	50	50	54	1.2	7.5
33 血液・体液用薬	224	229	260	1.8	13.6
39 その他の代謝性医薬品	405	420	471	3.6	12.1
396 糖尿病用剤	151	158	179	4.6	13.0
399 他に分類されない代謝性医薬品	172	180	207	5.0	14.5
42 腫瘍用薬	208	215	233	3.0	8.3
422 代謝拮抗剤	82	78	79	▲3.9	1.2
429 その他の腫瘍用薬	122	131	146	7.3	11.5
44 アレルギー用薬	312	300	324	▲4.0	8.1
52 漢方製剤	88	86	93	▲1.6	8.1
61 抗生物質製剤	171	161	157	▲5.5	▲2.5
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	89	79	77	▲11.4	▲2.8
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	72	73	70	0.3	▲3.2
62 化学療法剤	194	176	173	▲9.1	▲1.6
624 合成抗菌剤	53	52	54	▲2.9	4.3
625 抗ウイルス剤	75	70	70	▲6.6	▲0.0

注) 表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

6 内服薬の薬効大分類別に後発医薬品割合をみると、ビタミン剤が最も高く、43.4%、次いで呼吸器官用薬が13.2%となっている。対前年度差は、抗生物質製剤が1.6%ポイントで最も高く、泌尿生殖器官および肛門用薬が▲0.5%ポイントで最も低い。

表6 内服薬 後発医薬品割合(薬剤料ベース)

	実数(%)			対前年度差(%ポイント)	
	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成18年度	平成19年度
内服薬 総数	4.6	5.2	5.5	0.6	0.3
11 中枢神経系用薬	2.3	2.4	2.6	0.2	0.1
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	3.0	3.6	4.1	0.5	0.5
114 解熱鎮痛消炎剤	4.3	4.9	5.1	0.6	0.2
116 抗パーキンソン剤	2.0	2.3	2.5	0.3	0.2
117 精神神経用剤	1.2	1.2	1.5	0.0	0.2
119 その他の中枢神経用剤	0.2	0.2	0.2	0.0	▲0.0
21 循環器官用薬	2.7	3.2	3.4	0.5	0.2
212 不整脈用剤	3.4	3.7	4.1	0.3	0.4
214 血圧降下剤	1.0	1.2	1.3	0.2	0.1
217 血管拡張剤	1.5	2.1	2.6	0.6	0.5
218 高脂血症用剤	5.3	6.3	6.4	1.0	0.2
22 呼吸器官用薬	13.2	13.4	13.2	0.2	▲0.3
23 消化器官用薬	6.5	7.9	8.5	1.3	0.6
232 消化性潰瘍剤	4.2	5.3	5.9	1.2	0.6
239 その他の消化器官用薬	1.2	1.3	1.2	0.1	▲0.1
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	3.6	5.4	4.9	1.8	▲0.5
31 ビタミン剤	41.9	42.6	43.4	0.8	0.7
32 滋養強壯薬	2.0	2.3	2.2	0.3	▲0.1
325 蛋白アミノ酸製剤	1.5	1.7	1.5	0.2	▲0.2
33 血液・体液用薬	6.6	7.4	7.5	0.9	0.1
39 その他の代謝性医薬品	4.1	5.3	5.7	1.2	0.4
396 糖尿病用剤	2.7	4.8	5.6	2.1	0.8
399 他に分類されない代謝性医薬品	1.8	2.8	3.2	1.0	0.3
42 腫瘍用薬	1.3	1.3	1.3	▲0.0	▲0.0
422 代謝拮抗剤	0.1	0.1	0.1	▲0.0	▲0.0
429 その他の腫瘍用薬	2.1	2.0	1.9	▲0.1	▲0.1
44 アレルギー用薬	2.9	2.9	3.6	0.0	0.7
52 漢方製剤	—	—	—	—	—
61 抗生物質製剤	1.1	2.5	4.1	1.4	1.6
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	1.2	1.4	1.9	0.3	0.4
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	0.4	3.3	6.4	2.9	3.1
62 化学療法剤	4.1	4.9	5.5	0.8	0.5
624 合成抗菌剤	0.9	1.0	1.2	0.0	0.2
625 抗ウイルス剤	4.7	4.5	3.7	▲0.3	▲0.7